

将来デザイン

東海村（仮称）村松地区周辺地域活性化計画の策定にあたっては、地域みなさんが思い描く地域の将来像を「将来デザイン」としてまとめ、エリアごとにパース図を描きました。地域活性化を推進するにあたっては、本図を共通目標とし、一体的な地域活性化を推進してまいります。

※現時点での線画であり、現在着色作業中です。

※本図からの絵の修正は難しいことを予めご了承ください。なお、資料中の文言の修正は可能です。



東海村（仮称）村松地区周辺地域活性化計画

全体図



阿漕ヶ浦公園エリア



大神宮・虚空蔵堂エリア



細浦青畝エリア

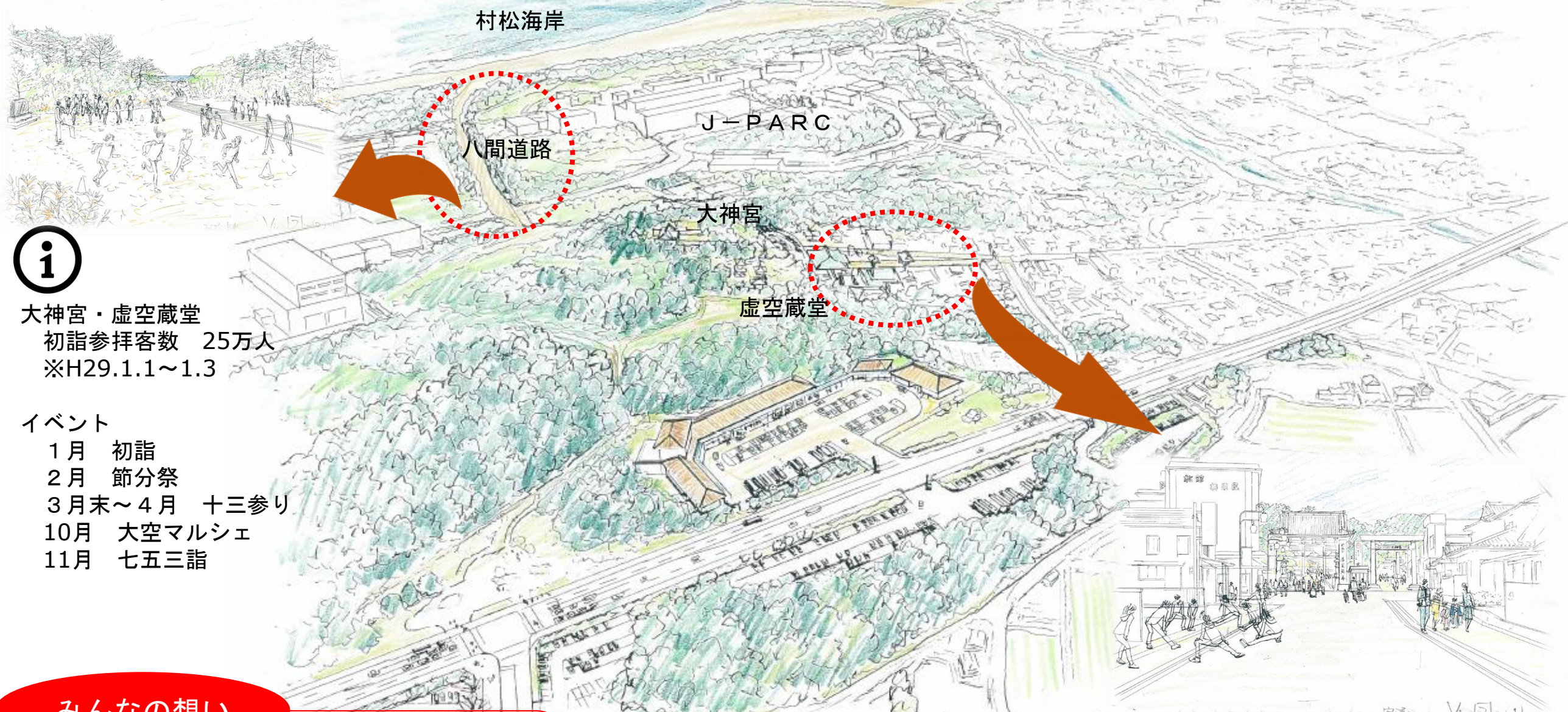


幼保跡地エリア

View 1 全体鳥瞰 -02

将来デザイン

～大神宮・虚空蔵堂エリア～



大神宮・虚空蔵堂
初詣参拝客数 25万人
※H29.1.1～1.3

イベント
1月 初詣
2月 節分祭
3月末～4月 十三参り
10月 大空マルシェ
11月 七五三詣

みんなの思い

道の駅のような滞留施設で食事や買い物を楽しめる
拠点となる駐車場からエリアを回遊できる
白砂青松の復活
科学を体験できるJ-PARCへのアクセス向上
スポーツ合宿でにぎわう八間道路
裏参道からのアクセスを向上し、村松海岸をPRする

伊勢神宮の分祀を祀る大神宮と弘法大師（空海）縁のお寺である虚空蔵堂は、建立から千年以上経過する、由緒ある社寺です。また、J-PARCをはじめとした原子力科学研究施設においては、世界最先端の研究が行われています。このように、歴史と科学が隣接する景観は、東海村唯一のものであり、歴史と科学が融合した観光振興策の推進が望まれます。

さらに、本エリアの新たな魅力として、スポーツ合宿が注目されています。村松海岸に向かう八間道路は砂丘となっており、砂地トレーニングのメッカとして陸上競技者などの間で大変好評です。本エリア内には昔ながらの旅館も多く、スポーツ合宿による新たな魅力の定着が期待されています。

将来デザイン

～阿漕ヶ浦公園エリア～

阿漕ヶ浦公園

(ホッケー場／夜間照明あり)

スタンド席 約 人

利用できる種目 ホッケー, サッカーなど

利用時間 9時～21時

(野球場A面／夜間照明なし)

利用時間: 9時～17時

※5～9月は～18時まで

(野球場B面／夜間照明あり)

利用時間9時～21時

阿漕ヶ浦公園のイベント

4月 東海さくらまつり

社会人ホッケーリーグ戦

8月 東海まつり花火大会

阿漕ヶ浦公園

野球場

ホッケー場

阿漕ヶ浦

阿漕ヶ浦公園エリア View

茨城県内では東海村にしかないグラウンドホッケー場及び野球場を有する阿漕ヶ浦公園を中心としたエリアで、スポーツ利用はもちろんのこと、桜の名所としても有名です。園内には、約200本のソメイヨシノが咲き誇り、3月下旬から4月にかけてのさくら祭には、村内外から多くの観光客が訪れます。

また、2019年の国体のホッケー競技会場となっており、開催に合わせ、公園周辺駐車場の整備、園路や遊具の更新が進んでいます。

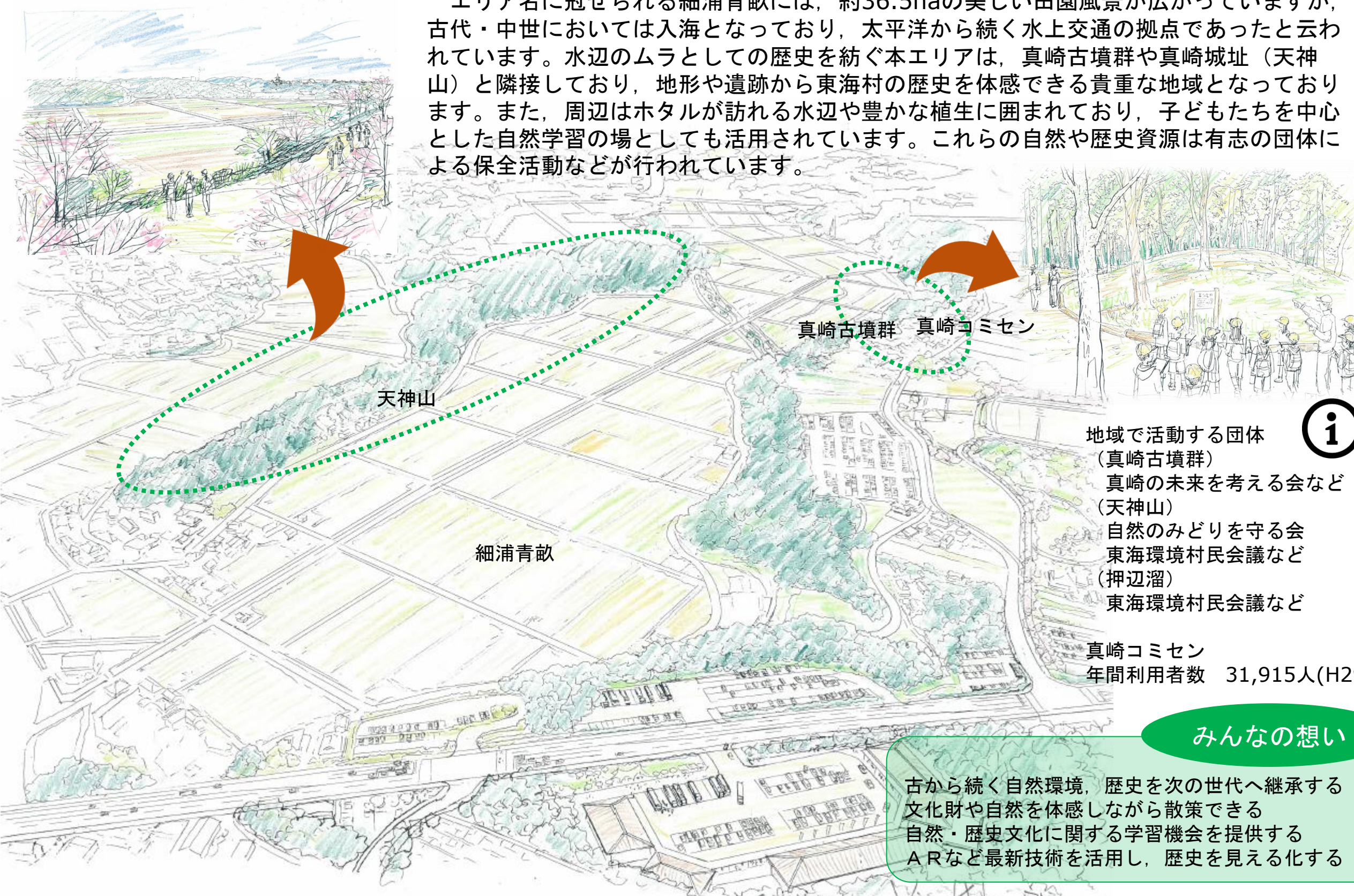
みんなの想い

阿漕ヶ浦の景観を楽しむ
阿漕ヶ浦の周りを歩ける遊歩道
来訪者カフェや展望デッキで憩える

将来デザイン

～細浦青畝エリア～

エリア名に冠せられる細浦青畝には、約36.5haの美しい田園風景が広がっていますが、古代・中世においては入海となっており、太平洋から続く水上交通の拠点であったと云われています。水辺のムラとしての歴史を紡ぐ本エリアは、真崎古墳群や真崎城址（天神山）と隣接しており、地形や遺跡から東海村の歴史を体感できる貴重な地域となっております。また、周辺はホタルが訪れる水辺や豊かな植生に囲まれており、子どもたちを中心とした自然学習の場としても活用されています。これらの自然や歴史資源は有志の団体による保全活動などが行われています。



地域で活動する団体
(真崎古墳群)
真崎の未来を考える会など
(天神山)
自然のみどりを守る会
東海環境村民会議など
(押辺溜)
東海環境村民会議など

真崎コミセン
年間利用者数 31,915人(H29)

みんなの想い

古から続く自然環境，歴史を次の世代へ継承する
文化財や自然を体感しながら散策できる
自然・歴史文化に関する学習機会を提供する
ARなど最新技術を活用し，歴史を見える化する

将来デザイン

～幼保跡地エリア～

宿幼稚園及び村松保育所がこども園として生まれ変わったことにより生じた幼保跡地は、地域からの要望を元に駐車場と広場としての整備を進めています。大型バスの駐車も可能である本駐車場は、大神宮や虚空蔵堂の参拝時にはもちろん、村松コミセンやこども園と隣接していることから、地域でのイベント時に活用されることが期待されております。また、本エリアは高齢者のグラウンドゴルフ場として利用されており、地域の憩いの場としても定着しています。

隣接する新川では、照沼小学校の児童によるサケの稚魚放流など、水辺の自然環境を活かした学習が実施されています。

とうかい村松宿こども園

村松コミセン

新川

みんなの想い

地域みんなが広場で憩える
広場で子どもたちが遊べる
川沿いの散策路で季節の景観を楽しめる
国道4車線化後も交通安全を確保する



とうかい村松宿こども園
入園者数 127人(0歳～5歳)
村松コミセン
年間利用者数 17,885人(H29)

幼保跡地駐車場
102台収容(大型バス8台)